



特定非営利活動法人そばネットジャパン第20回通常総会議事録概要

◆日時 令和7年6月1日(日) 10:05~13:36

◆会場 埼玉県県民活動総合センター306 セミナー室

◆議事録概要

【代表理事あいさつ】

そばネット埼玉からジャパンに変わりこれまで20年間皆様の支援に感謝する。ジャパン出発時にコロナ禍がありそれを乗り越えてきた。お陰様で3本柱である交流事業、技術検定、そば学をはじめ、戸隠そばなど地域のそば文化の発展にも寄与し、土台ができた。総会にあたり会場が埋まるこれだけの出席者は初めてである。皆様の活発の意見を期待します。大きな赤字が続く財務体質の根本の改善を図りたい。事業を前進させるためには財務の改善は必要なことであり、当法人創立以来団体正会員の会費の改定を提案している。本日の審議をよろしく願いいたします。

【総会審議】

・議長は、定款第25条の規定により、総会に出席した個人正会員から選出することになる。個人正会員の荻原武雄さんが議長に選出される。

・議事に入る前に、総会開会に当たっての定足数と出席会員数を事務局が報告する。総会の出席者数は、現在、団体正会員55団体、個人正会員は170人であるが、1団体の票数は5人としており、総投票数275人で個人会員数を加えると445人となる。本日の出席数は、団体出席者22 団体書面表決20で210人、個人出席者35と書面評決16で51人で、合計261人で全会員の過半数を超えているため、本総会は成立することを報告する。

・議事録署名人は定款第29条第2項の規定により、議長及び総会に出席した個人正会員から2名となっている。個人正会員で、野木直衛さん、照沼稔さんが議事録署名人になる。

・第1号議案令和6年度活動報告(案)と第2号議案令和6年度活動収支報告(案)を一括説明後、監査報告をする。質疑なく、承認される。

・第3号議案団体正会員会費の改定(案)を説明する。リソルの森蕎麦打ち倶楽部(代表代市一夫様)から別紙の意見書をいただいている、それを読み上げる。中日本メنز(麺's)クラブが書面評決で反対しているとの報告がある。

・質疑は下記のとおり。

Q:すでに団体所属会員の名簿を提出している。ジャパンの段位に興味がない会員がいるので会員が減少すると思われるが改めて名簿を提出するのか。

A:総会で本議案が承認されれば、改定通知で詳細をお知らせする。名簿は改めて提出をお願いする予定である。

Q:幽霊会員を助長することにならないか。拙速すぎる。自分の団体は会費が3倍に上がる。もう少し時間をかけて検討し来年度から実施すべきではないか。

A:昨年度財務体質改善検討委員会を4回開催し議論を重ね、その提言を受け、理事会でも議論した結果、本議案を提出している。ご理解をお願いしたい。

Q:本案をいきなりみて判断できない団体もあり、1年の移行期間を設けて来年実施を考えてはどうか。

A:意見として承る。

Q:評議員会を設けているがそこでの議論もなされていない。会員に周知する機



会を設けてから実施すべきではないのか。

A: 評議員会を開催して事業に関する意見を聞く機会を過去に設けていた。今回はその時間がなかった。

Q: A~E の各団体の内訳は・

A: 3月末で 53 団体あり、内訳は A は 14、B は 5、C は 20、D は 5、E は 9 である。

Q: 拍手ではなく挙手で採決して欲しい。

A: 採決は挙手とする。

Q: ランク別が理解できない。

A: 人数の少ない 5 人以下の A は現行の会費 1 万円に据え置き、B 以降は累進的に分けた。

Q: その説明では理解できない。

A: ご理解いただきたい。他に良い方法があれば提案してほしい。

Q: 人数変更に伴い名簿は毎年提出になるのか。

A: 今後は年度末に名簿提出してもらい、会費の納入になる。

暫時休憩 11:55~12:05

Q: 自分の団体は現在 20 名で C ランクになる。ただ段位には興味なく、自分がそば打ちを楽しみたいだけという会員もいる。名簿上の会員は減少し B になるかもしれない。

・採決で挙手を求める。内容は下記のとおり。

賛成 233 (33+40*5) 反対 2 書面反対 5 (1 団体)

個人会員出席者 35⇒ 賛成 33 反対 2

団体出席 22⇒ 賛成 21 棄権 1 団体書面表決書 賛成 19 反対 1

賛成多数により承認される。

・第 4 号議案役員の改選 (案) を説明後、質疑なく、承認される。

・第 5 号議案令和 7 年度活動計画 (案) と第 6 号議案令和 7 年度活動予算 (案) を説明する。

質疑は下記のとおり。

第 5 号及び 6 号議案の説明がありましたが、ご質問・ご意見はございますか？

Q: 未払い金がマイナスで計上されているが。

A: 収支決算書の令和 5 年度未払い金を計上している関係で未払い金を計上している。

質疑後、承認される。

【その他】

・阿部代表理事から NPO 法人そばネットジャパン事業協力金の創設について報告

本協力金は任意なので理事会で決定した事項を総会のお借りして報告する。これから広く周知していく。会員の会費を改定しても義務的経費の 70% しか賄えない状態。何か事業をするにしても資金がない。個人が立て替えることになる。余裕を持って先進的な事業を推進したい。検定会のみであれば今までの予算規模で事業はできるが、先進的な事業を進めるためには財政が厳しい。郷土蕎麦の DVD を作成するにも先行投資しないと経費を回収できない。理事会で



議論して決定した。魅力を高めるために事業の予算が必要である。事業協力金を活用して事業を起こし事業で資金を回収していきたい。個人会員はジャパンの趣旨に賛同してジャパンを支える立場、魅力ある事業を進めるために支援をお願いしたい。個人の負担を大きくせず幅広く集めたい。資金がプールされている状況を作りたい。運用状況は総会で報告したい。

以上で総会は閉会した。

- ・副代表理事小川伊七氏退任で感謝状を阿部代表理事から授与する。

- ・そばパートナーズ顕彰の授与を行う。

今年度ダイヤモンドそばパートナーズ顕彰者となる下記の方に顕彰盾の授与を行う。

生沼聖司様、山田英子氏様

閉会の辞、小山副代表理事

阿部代表も本心では会費の改定を望んではない。協力金は運用する段階で明らかにしていく。事業協力金500万円集めることは大変であるが、ご協力をお願いする。去年の総会で折笠さんから予算が枯渇するようであれば突破をして解決しないとズルズルといってしまうとの発言があったのを記憶している。この組織を存続していくためには必要な資金である。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

第20回総会書面表決意見書

リソルの森蕎麦打ち倶楽部 代表 代市一夫

- 1, 本総会議案書については、提起（送付）から開催までの期間が非常に短期間であり、これでは会員との協議が充分できないので、今後は余裕をもって提起されるようお願いします。
- 2, 本議案提起にあつたては、理事会等を経て充分議論したうえで地区理事より各団体に周知され、議論した結果を理事が中央へ反映するものと考えます。

しかしながら5区（千葉）選出理事に問合せしたところ、これについての会議や内容について一切連絡がなく、いきなり総会議案書が送られてきたとの事である。

これでは、理事を通して団体会員としての意見を反映することは到底できない。

このことは組織的に大きな問題であり、早急に改善をされるべきであり、組織的構図が形骸化しているのではないかと危惧している。

そばジャパンは、「風通しが良く、透明性のある・・・団体」とあるので、本件に限らず、そうであってほしいことを望みます。

- 3, 財政体質改善および事業協力金について

そばジャパン発足から代表をはじめ執行部を中心に様々な企画をして、実施されてきたことは大変素晴らしいことと大いに評価しています。

また、今日まで各事業に多くの会員が結集していることは、そばジャパンをこよなく愛し、育てて行こうとする会員の決意の現れかと思えます。

しかし、その反面残念ながら財政が厳しくなり今回の提案となってしまったことは、そばジャパンの活動について広く認識してもらおうとスピード感をもって対応した結果であると考えるが、これについても一定度やむを得ないことと理解する。

しかし、この提案説明は勿論であるが、だから会費の値上げと提案する前に、執行部（理事会役員等）はここに至ってしまったことを総括しているのか。

もし、総括していないのであれば、総会後でも検証して今後に生かしてもらいたい。

これからも本部（中央）は会員とキャッチボール（対話）を大切にしながら、リーダーシップとられていくことを期待します。

以上